

## 中部のベンチャービジネス支援状況について 中経連におけるベンチャー支援活動を通じて

中部経済連合会 ベンチャービジネス支援センター 所長 近藤 邦治



### まえがき

社団法人中部経済連合会(以下中経連)は、中部地域で活動する企業・団体などを中心とする約850の会員で構成する総合経済団体であり、当地方ならびにわが国の政治、経済などが当面する重要課題について調査研究を行いつつ、時宜に応じた提言などをまとめ、その実現を図ることで地域社会の発展に寄与する事を目的に活動を続けている。

中経連では、わが国経済が今後とも活力を維持し、さらなる発展を遂げる上で喫緊の課題とされる新産業の創出・育成に向け、平成11年4月に「ベンチャービジネス支援センター」を設置し、ベンチャーへの支援活動を実施している。

活動開始後1年半を経過し、当地域の中核的な支援組織としての役割を果たしつつある本支援センターの活動を通じて、中部のベンチャービジネスの現状について述べる。

### 中部地区でのベンチャー創出の背景

中部地域は、輸送機器を中心とした製造業がリード役を果たし、「ものづくり」の拠点として発展して来た。しかし、これら既存産業の多くが成熟化して行く中で、中部の産業が活力ある発展を維持して行くためには、新技術・新産業への育成をより一層強めて行くことが求められている。

平成11年の中小企業基本法の改正を始めとして行政によるベンチャー支援制度は、近年急速に整備・充実が図られて来ている。

しかし、ベンチャーの育成には人・物・金という物質的な支援制度の充実とともに、その活用方法へのアドバイスや、開発および商品化への技術コンサルティング、販路開拓支援とビジネスマッチング、経営指導等の情報を中心とした支援を、一元的に提供できる支援活動が求められていた。

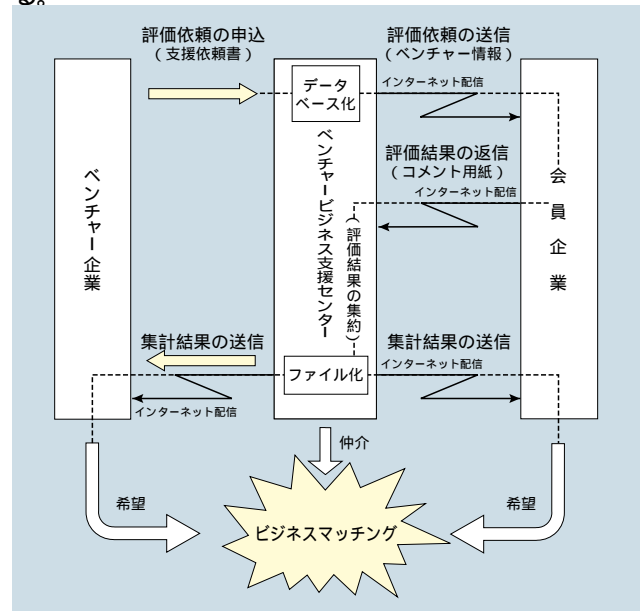
そこで、中経連ではこのような地域の実状を踏まえ、

これまでに培われた産業集積の基盤を活かし、当地域が21世紀においても、引き続き産業界での牽引役としての役目を果たすべく、「ベンチャービジネス支援センター」を設立し、活動をスタートさせた。

### ベンチャービジネス支援センターの概要

本支援センターの活動は、中経連会員とベンチャー(企業)を情報ネットワークで結び、この中で得られた、新製品・新技術、市場情報を、相互の新事業、新産業の立ち上げに活用してもらうことを目的とした情報支援を柱としている。(第1図参照)

支援内容は、中部五県の理工系大学・公的研究所の所有する特許や技術移転情報の紹介と評価設備の紹介・仲介、企業間での技術の活用による新事業の創出、ベンチャーの技術や製品紹介など、多岐にわたっている。



第1図 情報ネットの概要

本支援センターに寄せられた相談案件に対し、ヒアリングとセンターから提供される会員企業からの情報や各種の支援制度等のビジネス情報を基に、センターのコーディネーターがベンチャーの仲間や上司の立場

で、共に事業内容の精査や再構築を行い、事業としての展開が図られて行く。

特に、技術内容や事業計画に優れた案件に対しては、前記支援ネットにより、関連する対象分野の多数の会員企業に配信評価され、その集約結果が事業計画・アイデアの更なる精査・洗練化に役立てられている。

支援ネットへの情報配信時には、各々の案件に対する事業参画の可能性調査を併せて実施しており、会員企業の事業ニーズとベンチャーの技術シーズのマッチングを図れるようにしている。

### ベンチャーの特徴について

昨年4月の活動開始以来、本支援センターに寄せられた相談案件は、第1表に示すように広範な産業分野にわたっており、相談依頼件数も当初目標を大きく上回る380件(12/9月末現在)を数え、ビジネスマッチングは133件、うち17件が成約に至っている。(第2表参照)

第1表 相談案件の分類

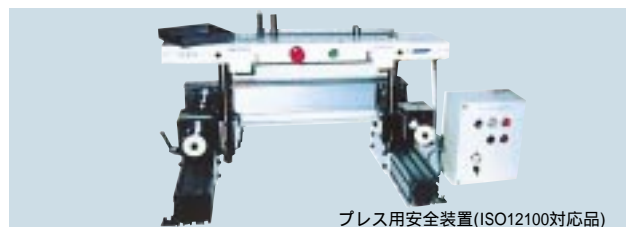
産業分野No.		計
1	医療福祉	11
2	生活文化	60
3	情報通信	23
4	新製造技術	25
5	流通物流	18
6	環境	25
7	ビジネス支援	31
8	海洋	3
9	バイオ	1
10	都市環境	27
11	航空宇宙	0
12	エネルギー	6
13	人材	12
14	国際化	0
15	住宅	24
16	その他	24
小計		290
事業詳細連絡待ち		65
バイヤー		25
計		380

支援依頼者の内訳は、事業準備段階や事業立上げ段階のものが約70%と多く、支援依頼内容としては製品・アイデアの評価や販路開拓などが強く求められている。

また、当地域のベンチャーに対する支援策へのアンケート調査結果でも、技術相談や技術・ノウハウの評価、販路・市場情報提供や製品評価などの支援活動への要望が多い。(第2図参照)

第2表 ビジネスマッチングの分類

内 訳		件 数
大学等技術紹介		12件
企業間技術活用		8件
事業評価と製作協力		26件
製品評価と販路開拓支援		55件
その他	支援機関紹介	13件
	資金調達	10件
	コンサル・人的協力	9件



第2図 ベンチャー製品の事例

そこで当センターでは、これらの要望に対し、前記の支援スキームで複数回の面接指導を行い、ビジネスプランを改善させ、事業としてステップアップした例など数多く生み出しており、当地域でのベンチャー企業の育成には技術的側面を主体として一貫した指導・アドバイスを実施する事が、ベンチャー企業の創出・育成に有効である事が判明した。

本支援センターの活動は、スタートアップ段階の起業家に対する従来の支援組織になかった支援として有効に機能しており、特に技術指向型のベンチャーに対して効果的な支援策となっている。

更に、販路開拓に対する要望に対しては、地域の支援組織の各々の機能を活かして対応するべく、組織間連携の更なる強化を進めている。

### 今後の取り組み

以上のように開設以来、本支援センターの活動は概ね順調に推移して来ているものの、寄せられる相談は、当初に想定した以上に多様である。

これまでの活動により、本支援センターは中部地域において技術評価のできる支援組織として広く認知されて来っており、今後は本支援センター設立の目的の一つである創造的開発型ベンチャーの創出・支援に向けて注力していきたい。

このため、支援内容の見直しと、情報の質および量の充実を図ると共に、地域のTLO(技術移転機関)や公的研究機関、各種支援組織との連携及び支援情報ネットの参加会員企業の拡充と会員各社の社内ベンチャー制度との連携にも注力し、広域で有効な支援活動を進めていくこととしている。

中経連ホームページ  
<http://www.chukeiren.or.jp>